

第2回 静岡市静岡地区LRT導入検討協議会

- 1 日 時 平成25年3月18日(月) 13時30分～15時30分
- 2 場 所 ペガサート 7階 大会議室
- 3 出席者 (委員) 久保田会長、瀧委員、坪井委員、山本委員、櫻井委員、小股委員、村松委員、北村委員、丹羽委員、柳沢委員(代理:伊藤委員)、風間委員
(事務局) 小長谷都市計画部長、小林参与兼交通政策課長、吉川統括副主幹、竹下主査、鏡味主任技師
- 5 議 題 静岡地区におけるLRTルート設定と利活用による導入効果
- 6 会議内容
- (1) 第1回協議会の指摘事項と対応(案)
 - (2) 静岡都心(葵・駿河ルート)におけるルート設定の考え方
 - (3) 設定ルートの利活用による静岡都心で期待される効果、効果のイメージ
 - (4) 葵・駿河ルートにおける需要及び採算性
 - (5) 葵・駿河ルートにおける軌道整備の考え方
 - (6) 葵・駿河ルートの導入に向けた研究会で示された課題解決の方向性
 - (7) 静岡市におけるLRT導入の効果

○意見交換

～ルート～

- ・現在示されているルートは、平成23年度の研究会において中心市街地の活性化や静岡鉄道との連携から導かれたものであり、これをベースとして将来的なLRTによるネットワークの構築を目指すとの考えで議論していきたい。
- ・葵ルートは、既成市街地の将来の姿を見据えながらLRTの意義や位置づけを導く必要がある。ここでは商店街における道路空間のありかたも考える必要がある。
- ・駿河ルートは、沿線居住地と都心市街地を結ぶ役割を担うので、ルートの設定においては人口の貼り付きや開発計画等を踏まえることが重要である。

～需要・事業費及び採算性～

- ・今回の資料で示された需要や採算性は、平成23年度の研究会から一部見直されており、今回は概算値と理解するが、条件や考え方等について更に詳しい説明をいただきたい。
- ・開業当初から30m級の車両を導入する点など、設備計画においてもまだ明確でない部分が多い。また静岡鉄道の車庫を活用するとのことだが、既存の路面電車の車庫はどのようなものなのか。